

所沢市子ども・子育て会議
(平成28年度第3回)

会 議 録

平成29年2月3日

会議の名称	所沢市子ども・子育て会議（平成28年度第3回）
開催日時	平成29年2月3日（金） 午前10時00分から午前11時00分まで
開催場所	こどもと福祉の未来館 3階多目的室3・4号室
出席者の氏名	（会議録別表1）のとおり
欠席者の氏名	藤澤 拓也（所沢市私立幼稚園協会） 草刈 由美子（連合埼玉西部第四地域協議会）
説明者の職・氏名	
議 題	議事 (1) 認定こども園の定員設定に関する取扱いについて (2) 教育・保育施設等の利用定員の変更等について (3) その他
会 議 資 料	・資料1：認定こども園の定員設定に関する取扱いについて ・資料2：教育・保育施設等の利用定員の変更等について
担 当 部 課 名	本田こども未来部長 及川こども未来部次長 こども政策課：岸課長、瀧澤主幹、豊村主任、上原主任 こども支援課：浅見課長 こども福祉課：市來課長 青少年課：森田課長 保育幼稚園課：町田課長、野上主幹、小山副主幹 (事務局) こども未来部こども政策課 電話 04-2998-9415

(会議録別表1)

所沢市子ども・子育て会議委員会名簿

	氏名	出欠席状況	選出母体等
1	近喰 晴子	出席	学校法人 秋草学園 秋草学園短期大学
2	小松 歩	出席	学校法人 白梅学園 白梅学園短期大学
3	広瀬 正幸	出席	埼玉県所沢児童相談所
4	川音 孝夫	出席	所沢市立小中学校校長会
5	高田 美智子	出席	所沢市民生委員・児童委員連合会
6	粕谷 治彦	出席	所沢市PTA連合会
7	小沢 貞泰	出席	所沢市放課後児童対策協議会
8	藤澤 拓也	欠席	所沢市私立幼稚園協会
9	喜多濃 定人	出席	埼玉県保育協議会
10	藺田 公斗	出席	地域型保育事業運営団体
11	小松 君恵	出席	地域子育て支援拠点事業運営団体
12	水野 良司	出席	放課後児童健全育成事業運営団体
13	森田 純子	出席	所沢商工会議所
14	渡辺 良雄	出席	所沢地区労働組合協議会
15	草刈 由美子	欠席	連合埼玉西部第四地域協議会
16	リーガン 有香	出席	市民公募
17	高橋 航太郎	出席	市民公募
18	西村 克男	出席	市民公募
19	池田 亜希子	出席	市民公募
20	笹川 美千代	出席	市民公募

発 言 者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局	<p>～ 開 会 ～</p> <p>■ 会議成立の報告</p> <p>■ 会長挨拶</p> <p>それでは、議事に入る前に、資料の確認と本日の会議の流れを事務局から説明をさせていただきます。</p> <p>お手元にお配りしております資料の確認をお願いいたします。</p> <p>（資料の確認）</p> <p>事前の配付資料としまして、</p> <p>会議次第</p> <p>資料１： 認定こども園の定員設定に関する取扱いについて</p> <p>資料２： 教育・保育施設等の利用定員の変更等について</p> <p>委員名簿</p> <p>があります。</p> <p>皆様、お手元におそろいでしょうか。</p> <p>次に、本日の会議の流れでございますが、はじめに、議題１として「認定こども園の定員設定に関する取扱い」について、議題２として「教育・保育施設等の利用定員の変更等」について、ご説明を事務局から行い、それぞれの議題について皆様からご意見をいただきたいと思います。</p> <p>なお、本日は、会議終了後にこども支援センターの施設見学の時間を設けておりますため、会議時間は１時間半程度を予定しております。施設見学は、自由参加となりますが、せっかくの機会ですので、お時間がございましたら、ぜひご参加ください。</p>
会長	<p>■ 傍聴確認</p> <p>（傍聴なし）</p> <p>本日の流れについては、先程事務局からの説明のとおりです。</p> <p>それでは議題１の「認定こども園の定員設定に関する取扱いについて」事務局より説明をお願いします。</p> <p>～事務局より資料１に基づき説明～</p>

<p>会長</p>	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>まず一点目に、昨年の2回目（8月）の会議の中で、幼稚園の認定こども園への移行について方針はないと聞いていましたが、今回の提案との関わりを教えてくださいたいです。</p> <p>二点目に、認定こども園に移行する場合の一つの大きなネックとして、国の財政支援の問題があり、移行することによって補助金が減ってしまう課題があったかと思いますが、その問題が解決できているのか、現状のままか教えてくださいたいです。</p> <p>三点目に、資料の中の二重線で記載されている部分について、説明がなかったので、その部分について伺いたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>一点目について、幼稚園からの認定こども園移行状況と今回の提案の関係ですが、移行が進んでいないということで、このような取扱いにしたわけではありません。今までの運用ですと、例えば保育園からの移行によって1号定員を新たに設定するにあたり、2・3号の定員枠が減ってしまうため、また、平成30年度から認定こども園の特色を活かすために、1号定員を自由に取扱えるよう変更させていただくものです。</p> <p>二点目について、公定価格は全国一律であり、国の状況に変更がないため、移行にあたって幼稚園の収入としては今まで通り減ってしまうと考えられます。</p> <p>三点目について、二重線については、資料上わかりやすいように特に重要と考える部分に記載しており、概ね先ほどの説明の中で網羅していると認識しております。</p>
<p>委員</p>	<p>三点目については理解しました。</p> <p>二点目については、市として特別に財政支援を考えていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>国は様々なことを検証したうえで適正に公定価格を算出していると認識しております。市の財政状況も厳しく、さらに補助するということは、今のところ難しい状況にあります。</p>

<p>委員</p>	<p>利用者からすれば、3号定員が増えることは現状からすると良いことだと思います。事業者は大変な思いをして移行するということですが、これから経営維持に努めていただければと思います。</p> <p>次に、資料1の中で事業計画上は平成28年度以降において新たな施設整備の予定はないという事ですが、これは市が考えている方向性であって、現状として必要になってくれば整備をすることになると思うので、混乱を招く文章であると感じました。</p> <p>また、保育需要（ニーズ量）の減少が今後見込まれるということですが、長期的に見れば見込まれるのかもしれませんが、平成31年度まではそのような状況になるという認識はないと考えています。保育需要に対する理解が十分ではないと感じました。</p> <p>私は8月の会議でも数字を示しましたが、実績から見ると保育需要は減っていないと思います。減少が見込まれる根拠があるのなら示していただきたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>平成28年度以降において新たな施設整備の予定はないということについては、あくまで現在の事業計画上の現状を申し上げているところです。今後の保育需要の増大が見込まれる場合には、PDCAサイクルの中で計画を見直し、枠を確保していくことも必要であると考えています。これをもって、整備等を考えないということではありません。</p> <p>根拠につきましては、事業計画の82・83ページにもありますように、既存の幼稚園や保育園を活用し、保育需要の充足が見込まれている場合であっても、認定こども園への移行をしていくとしております。</p>
<p>会長</p>	<p>状況によって柔軟に対応していくということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうです。</p>
<p>委員</p>	<p>状況に応じて計画を見直すのであれば、必要があれば整備していくということなので、平成28年度以降において新たな施設整備の予定はないという記述は紛らわしく、混乱を招くのではないですか。</p> <p>また、保育需要についてですが、私は以前より会議の中で実績を示</p>

事務局	<p>しています。保育需要が減少しているという認識ではないので、それに代わる根拠があるのなら示してほしいという事です。</p> <p>あくまで現在の事業計画の現状を報告しているだけですので、現状と違いがあることは認識しています。委員のおっしゃるとおり、開発等により保育需要が増加し、枠が足りないということになれば、計画を見直し、施設の整備を行っていくことも考えております。</p>
会長	<p>また新たな保育需要が増加した場合には、委員の皆様のご協力が必要になると思います。</p>
委員	<p>計画を策定した当初にも数字や文言の整理を行った経緯がありました。柔軟に対応するのであれば、今後は整備をしないとといった記載は混乱を招くので無くてもよいと感じました。</p> <p>保育園の利用率から見ると平成26年度くらいまでは、30%を想定してきました。平成27年度以降は30%を超えています。これは、保育需要が増えていると理解してよいと思います。</p>
会長	<p>計画の表現上の問題については、今後検討していただければと思います。その他の点で事務局からなにかありますか。</p>
事務局	<p>繰り返しになりますが、あくまで今の計画の現状をお示ししているだけですので、実情と乖離するようであればPDCAサイクルの中で計画を見直し、枠を確保することを検討していきます。</p> <p>保育需要が計画のとおり減少している地域もあれば、当然増加している地域等もあります。計画策定時のニーズ調査時と現在では状況が変わっていると思いますので、そういったことを見据えて計画変更時には委員の皆様のお力が必要になると思います。</p>
委員	<p>柔軟に対応していくのであれば、保育需要の減少という表現は控えたほうがよいのではないのでしょうか。無理して入れる必要はないと思います。</p>
委員	<p>私の認識では、今回先程の委員ご指摘の資料部分については、既存</p>

	<p>の所沢市子ども・子育て支援事業計画の抜粋であると認識しています。今後、受け入れ枠を確保していくためには、幼稚園からの認定こども園の移行が主要であり、その際の定員設定は必要最小限で設定していくということになっていたと思います。これまでの定員設定については、地域で保育の確保量を見て設定することとしていたと思いますが、例えば、駅に近い幼稚園が認定こども園への移行を希望している場合、3号定員をどのように設定するかが課題になります。これまでの考え方では、地域の需要を見て3号定員の必要がない場合には設定せず、または要望があれば必要最小限で設定するということであると思います。しかし、駅の近くなのである程度の需要は想定できるはずですが。</p> <p>是非「必要最低限」の考え方について、弾力的に対応をお願いしたいと思います。今後、先程の委員のおっしゃるような需要が増加するようなことがあれば、事業者と調整していただきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>是非、柔軟な対応をお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1の3ページにある、具体的な定員設定の取扱いについてですが、平成29年度より2号定員を本来の定員（60人）に戻し、1号定員を外付けで3人設定し、平成30年度からは1号定員が10人に増えていますが、面積的には実際の受け入れが可能なのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料はあくまで例であり、実際は面積を勘案して設定していきます。</p>
<p>委員</p>	<p>あくまで意見として申し上げますが、資料1の3ページの最後に、今後の考え方について「待機児童数等を踏まえて」定員設定をしていくという記載がありますが、本来であれば平成29年度に待機児童は解消するという計画になっているので、ここであえて言わなくてもよいのではないかと感じました。</p>
<p>会長</p>	<p>意見として頂戴いたします。それでは、次の議題に移らせていただきます。</p> <p>議題2「教育・保育施設等の利用定員等の変更について」事務局から説明をお願いします。</p>

	<p>～事務局より資料2に基づき説明～</p>
会長	<p>ただ今事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いいたします。</p>
委員	<p>定員数についてですが、平成29年4月には3号認定は増えないと思いますが、最新の低年齢児の受入れと入園の申込者数はどのような状況ですか。</p>
事務局	<p>現在、集計中でございます。</p>
会長	<p>次の議題に移らせていただきます。 議題3「その他」について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局から2点報告事項がございます。 1点目ですが、議題の中でもご説明しましたが、今後の施設整備について改めてご説明させていただきます。 開発等により保育需要の増大が見込まれる場合には、事業計画の見直しを必要に応じて行っていきます。今後、所沢地区の開発事業も予定されており、子育て世帯の増が見込まれることから、改めて施設整備の考え方を整理していきます。 2点目ですが、次回の会議については5月下旬を予定しております。決定次第ご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。以上で本日の議事はすべて終了しましたので、事務局にお返しいたします。</p>
事務局	<p>それでは閉会にあたりまして、副会長よりご挨拶をいただきたいと思います。</p> <p>■ 副会長挨拶</p>
事務局	<p>以上で、平成28年度第3回の子ども・子育て会議を閉会いたします。</p>

～閉会～